

九州南部支部からの便り

令和6年7月20日(土)、第25回九州南部支部総会が宮崎市のホテルメリージュにて開催された。前回の宮崎県での開催は、令和元年7月6日となっており、新型コロナウイルス感染症の影響により、1回の中止があって、5年ぶりの開催となった。5年の間に、宮崎駅に商業施設アミュプラザ宮崎が開業するなど、駅前の様子が随分変わったことに驚かれた県外出席者も多かったと思う。当日の総会出席者は12名であった。

開会にあたり、支部長である林田素行氏(昭和44年卒)が挨拶を行い、続いて、支部総会に関する事項、役員体制、令和5年度の収支の状況の報告が行われた。次に、京都大学大学院経済学研究科・経済学部教授であり同窓会の常務理事の田中彰教授から、「京都大学経済学部の現況および同窓会本部報告」をいただいた。



出席者が楽しみにしている講和については、田中彰教授より「六大企業集団の無機能化一躍り場のビジネスグループ」を演題に講和を頂いた。三菱、住友、三井、芙蓉、三和、一勧の六大企業集団が、グローバル化の進展、金融機関の再編等により、変遷していったことなど、出席者も皆、熱心に聞き入り、講和終了後には多くの質疑応答がなされた。講和終了後は懇親会となった。懇親会は、岡野徹氏(昭和38年卒)の乾杯により開宴。歓談の時間には、近況や学生時代の思い出話に花が咲き、時折笑い声が響き渡る場面もあった。久しぶりに顔を合わせた出席者たちは、過ぎ去った時間を超えて瞬く間に再び絆を深め合っ

いた。また、来賓者として、元宮崎市長の津村重光氏(京都大法学卒)にご出席いただいております、貴重なお話を伺うことができた。

終了間際には、全員で「琵琶湖周航の歌」を合唱し、次年度の再開を誓い合いながら盛会のうちに幕を閉じた。「また次回の再会を楽しみにしています」との言葉を交わしながら、参加者はそれぞれの道へと戻っていった。

村上 秀幸(平成5年卒)



京都大学経済学部同窓会九州南部支部 令和5年度 会計報告書

収 入		支 出	
科 目	金 額 (円)	科 目	金 額 (円)
九州南部支部総会収入	120,000	支部総会経費	201,067
支部活動援助金(本部より)	100,000	謝 金	30,000
預 金 利 息	2	通 信 費	9,441
		事 務 費	36,080
		雑 費	6,533
(小 計(当年度収入額))	220,002	(小 計(当年度支出額))	283,221
前 年 度 繰 越 金	313,511	剰余金(次年度繰越金)	250,292
合 計	533,513	合 計	533,513

財産目録

種 類	預 入 先	金 額 (円)	備 考
普通預金	肥後銀行東支店	250,292	
合 計		250,292	

上記について監査の結果相違ありません。

令和6年5月22日

会 計 監 事

丸野 孝代 (印)